

# 仕様書

## 1. 件名

学校系サーバー機器一式賃貸借（長期継続契約）

## 2. 納入期限

令和9年2月26日

なお、設定完了したものを納入すること。

## 3. 賃貸借期間

令和9年3月1日 から 令和14年2月29日まで

## 4. 納入場所

かすみがうら市 霞ヶ浦庁舎サーバー室

## 5. 本業務の範囲

本業務の調達範囲は、6. 機器等の仕様に記載のとおり機器の調達、設計、搬入、設定、設置、試験作業、保守、既存サーバーのデータ消去及び本契約の期間満了後の返却までの費用とする。

## 6. 機器等の仕様

### 6.1 仮想化サーバー

次の表を満たすものとする。

項	仕様	数量
1. 仮想化サーバー		
メーカー	エフサステクノロジーズ、NEC、日立製品であること。	1台
OS	ホスト OS は Windows Server 2025 Standard とし、ゲスト OS は Windows Server 2025 Standard を 4 ライセンス用意すること。 なお、ホスト OS の Windows Server 2025 Standard は製品にインストールされた状態であること。	
CPU	Xeon 6515P プロセッサー(2.30GHz、16 コア、72MB)相当品以上を 1 台のサーバーに 2 基搭載すること。	
メモリ	128GB(16GB 6400 RDIMM×8)以上搭載すること。	
HDD RAID	・実効容量 7.68TB 以上 (SAS HDD-3.84TB(10krpm)×5) ・2.5 インチ/SATA ・RAID カードにて、RAID1+0+Hotspare を構成すること。 ※RAID 構成上必要となる SAS カードを含む容量及び性能は同等以上	
光学式 ドライブ	内蔵または外付けの DVD ドライブを有すること。	
LAN	Dual port LAN カード(10GBASE-T) ×2 ポート拡張オプション(1000BASE-T×4)	

電源	冗長電源 なお、電源接続に必要となる電源ケーブルも含めること。	
外形寸法	2U 以内	
保守	・ハードウェアは、メーカーによる 5 年間の当日訪問修理保証 ・OS (Windows) は 5 年間のトラブル/障害時に問い合わせ(電話/メール等)が可能な保守を提供すること。	
2. 仮想化サーバー周辺機器		
UPS	・エフサステクノロジーズ製 Smart-UPS SMT 1500RMJ (2U) なお、OEM 製品でも可とする。 ・メーカーによる 5 年間の当日訪問修理保証	1 台
KVM ケーブル	上記、仮想化サーバーが切替可能な KVM ケーブルであること。	1 台

## 6.2 ファイルサーバー

次の表を満たすものとする。

項	仕様	数量
1. ファイルサーバー		
メーカー	エフサステクノロジーズ、NEC、日立製品であること。	1 台
OS	Windows Server IoT 2025 for Storage Standard であること。	
CPU	Xeon プロセッサ 6357P (3GHz/8 コア/24MB) を 1 基搭載すること。	
メモリ	64GB (32GB 4800 UDIMM×2) 以上搭載すること。	
SSD RAID	・実効容量 15.36TB 以上 (SAS HDD-3.84TB(10krpm)×7) ・2.5 インチ/SATA ・RAID カードにて、RAID6+ Hotspare を構成すること。 ※RAID 構成上必要となる SAS カードを含む容量及び性能は同等以上	
光学式 ドライブ	内蔵または外付けの DVD ドライブを有すること。	
LAN	Quad port LAN カード(10GBASE-T)	
電源	冗長電源 なお、電源接続に必要となる電源ケーブルも含めること。	
外形寸法	1U 以内	
保守	・ハードウェアは、メーカーによる 5 年間の当日訪問修理保証 ・OS (Windows) は 5 年間のトラブル/障害時に問い合わせ(電話/メール等)が可能な保守を提供すること。	
2. ファイルサーバー周辺機器		
UPS	・エフサステクノロジーズ製 Smart-UPS SMT 1500RMJ (2U) なお、OEM 製品でも可とする。 ・メーカーによる 5 年間の当日訪問修理保証	1 台
KVM ケーブル	上記、仮想化サーバーが切替可能な KVM ケーブルであること。	1 台

バックアップ用 NAS	・ BUFFALO WS5420RN32W2 (1U)	1台
-------------	-----------------------------	----

### 6.3 共通ソフトウェア

次のとおりとする。

項	製品名	数量
1	Microsoft Windows Server 2025 デバイス CAL アカデミックオープンライセンス	300 式
2	Arcserve UDP 10 Advanced Edition - Socket (5年間平日サポート付)	2 式
3	Arcserve UDP 10 Advanced Edition - Server (5年間平日サポート付)	1 式
4	DatacloningWizard/SV SV-L 6.1	1 式
5	DatacloningWizard/SV メディア 6.1	1 式

## 7. 導入構築作業

### 7.1 共通要件

- ・ 機器更新作業は、他システムに影響を与えないように実施すること。
- ・ システム構築時に、既存機器の設定変更等が必要となった場合は、作業を実施すること。
- ・ 既存システムと連携するために必要となる機器、物品等は全て積算すること。
- ・ 本システム導入に際し、その他必要となる機器、物品等は全て積算すること。
- ・ 作業内容、スケジュール等は十分な打ち合わせを行い、了承を得ること。
- ・ 機器の設計、搬入、設定、設置、試験作業を実施すること。

### 7.2 仮想化サーバー構築要件

- ・ 教育委員会が指定するサーバーラックへ本サーバーの現調、搭載作業を実施すること。
- ・ ホスト OS は、Windows Server 2025 Standard とし、ゲスト OS は Hyper-V にて 4 式構築すること。  
なお、ゲスト OS は Windows Server 2025 Standard とする。
- ・ ゲスト OS には、以下の既存システムをインストール又は移行を予定しているため、ゲスト OS の CPU、メモリ、HDD 等のリソースを教育委員会と協議し、最適なりソースを割り当てること。
  - ① SKYSEA CL View (既存ライセンス) (Windows 2019)
  - ② i-Filter (Windows 2019)
  - ③ ActiveDirectory (Windows 2019)
  - ④ WSUS 兼ウイルス対策 (Windows 2019)
- ・ 運用中の ActiveDirectory に新しい ActiveDirectory を参加させること。
- ・ 仮想マシンについては Arcserve UDP にてバックアップを取得すること。

### 7.3 ファイルサーバー構築要件

- ・ 教育委員会が指定するサーバーラックへ本サーバーの現調、搭載作業を実施すること。
- ・ ホスト OS は、Windows Server IoT 2025 for Storage Standard をインストールすること。
- ・ 既存ファイルサーバーから今回調達するファイルサーバーへデータを移行すること。
- ・ 既存のデータが完全に移行されたことを確認し、教育委員会の承認を得ること。
- ・ ファイルサーバーのデータについては Arcserve UDP にてバックアップを取得すること。

#### 7.4 既存サーバーのデータ消去

今回調達するサーバーの稼働確認後、既存サーバーのデータが復元できないようデータ消去を行うこと。

#### 8. 提出資料等

- ・ 工程表
- ・ 試験成績表
- ・ 機器設定情報
- ・ 操作・運用マニュアル
- ・ ネットワーク構成図
- ・ 旧機器のデータ消去証明書（データ消去したことをを証するもの）

#### 9. その他

本仕様書に記載のない事項において疑義が生じた場合、教育委員会と協議のうえ決定すること。

以上